

いずもぎき

議会だより

第112号

2021 令和3年7月29日



石坂 優



坂口 雄介



小畑 穂乃花



外山 智美

6月臨時会・定例会

もくじ

議会人事	2
6月臨時会	4
議会のうそぎ	5
6月定例会	6
全員協議会	8
一般質問(6人が町政をただす)	10
議会サロン・議会中継のお知らせ	17
みんなの声	18

出雲崎町議会
ホームページ



寄り合い処 気楽らんく(地域おこし協力隊活動拠点)

新しい議会人事構成が決定!!

議長
三輪 正

副議長
加藤 修三

総務文教常任委員会

委員長	高桑 佳子
副委員長	島 明日香
委員	仙海 直樹
	宮下 孝幸
	三輪 正

社会産業常任委員会

委員長	小黒 博泰
副委員長	石川 豊
委員	中野 勝正
	高橋 速円
	加藤 修三

議会運営委員会

委員長	高橋 速円
副委員長	高桑 佳子
委員	中野 勝正
	小黒 博泰

議会報特別委員会

委員長	高桑 佳子
副委員長	石川 豊
委員	仙海 直樹
	小黒 博泰
	島 明日香

エコパークいずもぎき監視特別委員会

委員長	小黒 博泰
副委員長	島 明日香
委員	中野 勝正
	高橋 速円
	仙海 直樹
	宮下 孝幸
	加藤 修三
	高桑 佳子
石川 豊	

地域公共交通対策特別委員会

委員長	宮下 孝幸
副委員長	石川 豊
委員	中野 勝正
	高橋 速円
	仙海 直樹
	加藤 修三
	高桑 佳子
	小黒 博泰
島 明日香	

新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員

小黒 博泰

監査委員（議員選出）

仙海 直樹

6月臨時会 会期 6月8日（1日間）

6月臨時会で出雲崎町議会基本条例に基づき、議長及び副議長を投票にて選出いたしました。また、各委員会の構成・正副委員長の選出も行われました。



9 加藤 修三 7 小黒 博泰 5 宮下 孝幸 3 中野 勝正 1 仙海 直樹



10 三輪 正 8 島 明日香 6 石川 豊 4 高桑 佳子 2 高橋 速円

（議席順）

議長就任のあいさつ

議長 三輪 正

6月臨時会にて議長の大役を務めさせていただく事になり、その重責を痛感しております。選挙期間中、沢山の町民の皆さまから「議員の日常活動が見えない」という厳しい声をいただきました。

議員は町民のさまざまな声を聞き、議会の場で町政にいかす事が大事と考えます。そのため町民の声を直接お聞きする「議会サロン」を続け、また各団体グループと議員との「意見交換会」の開催を考えております。

人口減少をはじめ、子育て、交通問題、農業や地場産業の振興など課題は山積しています。重要な課題については、議員全員の意見を集約して町に対して議会として「提言、提案」をして、その実現を目指していきます。

議会は、町民の皆さま方の議会です。議会が町民の福祉向上、町活性化のため10名の議員全員、全力で取り組みます。

町民の皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

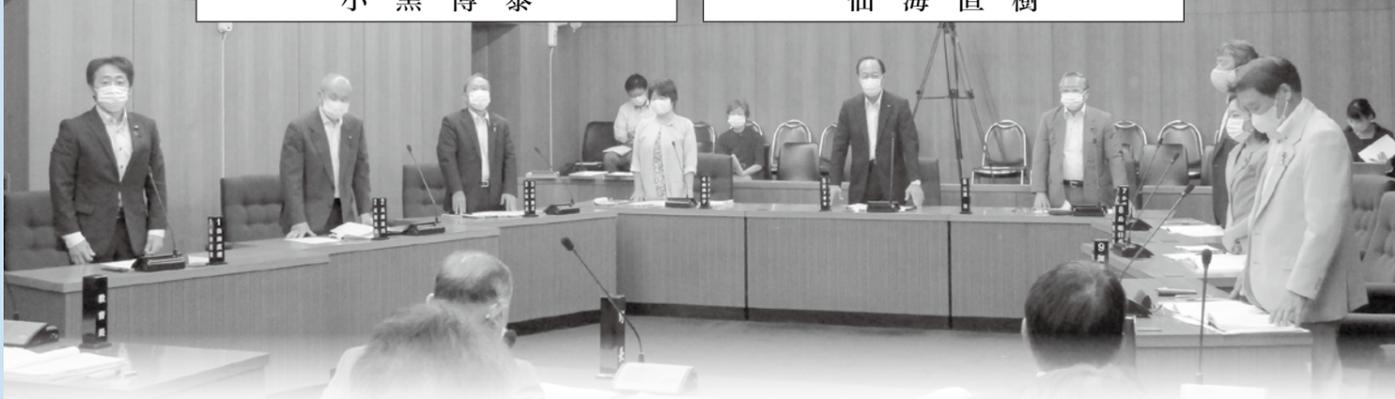
副議長就任のあいさつ

副議長 加藤 修三

町民の皆様には、日頃より町議会へのご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

この度、一般選挙後、臨時議会におきまして、全議員から推挙を賜り、副議長の要職に就任させていただきました。身に余る光栄と職務の重大さに身が引き締まる思いであります。

今、コロナ禍で最優先されるべきは、一刻も早いワクチン接種で町民の命と健康を守り、町経済の回復を図り、「住みよい活力に満ちた町づくり」を目指すとともに、出雲崎町議会が町民から信頼されるよう副議長の職務を遂行し、議長とともに町政の推進及び議会の公正かつ円滑な運営に努めてまいります。引き続き皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



ここが聞きたい!!

臨時会 補正予算質疑

6月8日

主なものから抜粋して掲載しています

総務課長 令和元年度から交付を受けており、令和2年度は造林事業に充て、令和3年度は、約30年前の航空写真を入れ替える予定。基金は、翌年度の事業に活用している。

中野議員 基金の使い道は。

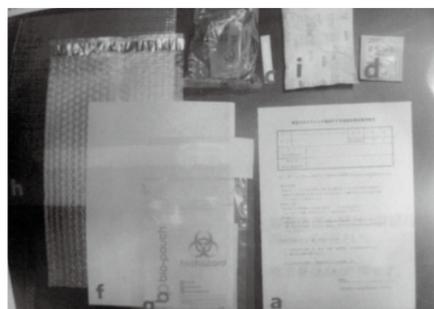
森林環境基金追加

177.7万円

総務課長 数字上の定数は一名減となっているが、農業委員会の窓口業務を行う農林水産係を兼務職員として辞令を出しているため、実質的な人数に変動はない。

中野議員 町長の事務部局の職員が一名減となっているが、不具合は生じないのか。

出雲崎町職員定数条例の一部を改正



PCR検査キット

産業観光課長 残り5店舗に関して、営業自粛中2店舗、配達のみ1店舗、検査を検討中が1店舗である。全店舗が検査できるよう働きかけ、検査の要請があれば実施していく。また、検査を終えた店舗はホームページにも掲載していく。随時追加していく。

加藤議員 PCR検査の実施は、25店舗中20店舗とのことだが、全店舗に実施できないのか。
また、人の流れの多い店舗にもPCR検査を実施していくのか。

町長 町として各店舗を救済すべく対応している。お客様自身の体調管理を基本に、対策を万全にとっている店舗を選んで、町民はじめ皆さんが積極的に利用することが大切である。

仙海議員 感染症防止のための道具を揃えたり検査をすることで、町内飲食店や事業者に客足が戻るのか疑問である。各店舗にダイレクトに支援が行き届くように策を投じてほしい。

感染症防止対策事業PCR検査料

191.4万円

仙海議員 PCR検査は今後も継続していくのか。また、町内飲食店には検査済のフラッグ等を掲げているが、その陰性の証はいつまで有効なのか。

産業観光課長 フラッグ等を掲示することで安全であるという証はある程度実証できると考えている。町内のコロナワクチン接種が終わる段階を見計らい、もう1回程度検査を検討している。この事業をいつまで継続するか未定だが、体調の悪い方の検査は随時受け付けている。

6月臨時会

議案6件を全会一致で承認・同意

会期 6月8日 (1日間)

6月臨時会で決定した補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額
令和2年度一般会計(第13号)(専決)	100万円	42億5,087万円
令和2年度一般会計(第14号)(専決)	7,487万円	43億2,574万円
令和3年度一般会計(第1号)(専決)	715万円	32億7,515万円

令和2年度一般会計補正予算(第13号)

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金追加 …… 100万円 	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種台帳システム改修委託料追加 … 100万円

令和2年度一般会計補正予算(第14号)

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> 地方交付税特別分追加 …… 4,401万円 地方消費税交付金追加 …… 1,423万円 森林環境譲与税追加 …… 177万円 	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境基金積立追加 …… 177万円 財政調整基金積立 …… 7,224万円

これにより令和2年度末の財政調整基金残高は18億5596万円となる見込みです。

令和3年度一般会計補正予算(第1号)

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金追加 …… 111万円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 …… 604万円 	<ul style="list-style-type: none"> 感染防止対策設備整備等推進事業補助金 …… 250万円 PCR検査料 …… 191万円 非接触型検知器(8台) …… 123万円

条例の一部改正

議案第39号 出雲崎町職員定数条例の一部改正
農業委員会の事務部局の実務体制を専任1人と兼務2人にするもの

議案第40号 出雲崎町税条例の一部改正
令和3年度の地方税制改正によるもの
(住宅借入金等特別税額控除の延長、固定資産税の評価替えに伴う負担調整措置等の継続、軽自動車税の環境性能割の軽減期間の延長など)

監査委員の選任に同意

仙海直樹氏(令和3年6月8日から4年間)

議案番号	議案名	詳細ページ
29	第3回町議会リモート会議	↓詳細はp9
25	議会運営委員会 第5回全員協議会 6月定例会最終日	↓詳細はp10、16
24	6月定例会2日目(一般質問)	
23	社会産業常任委員会 総務文教常任委員会 6月定例会2日目	
22	議会特別委員会(議会だより第112号)	↓詳細はp6、7
15	議会運営委員会 6月定例会招集日	
11	新潟県町村議会議長会 第1回臨時総会(新潟市)	↓詳細はp4、5
8	出雲崎高校との交流 第2回町議会臨時会	↓詳細はp8
23	第4回全員協議会	
19	第2回町議会リモート会議	
14	議会運営委員会 第2回町議会リモート会議	
13	議会特別委員会(議会だより第111号)	
5	議会特別委員会(議会だより第111号)	
4	新潟県町村議会議長会(新潟市)	

議会のつどひ(主なもの)
令和3年4月～6月

人 事
案 件

全員協議会

主なものから
抜粋して掲載しています

第4回 4月23日(金)

新型コロナウイルス禍での 保育士等の 労働環境に配慮を

高橋議員 コロナ禍は簡単には
終息するとは思えない。学校開
係には公的な指導や補助が入っ
ているが、町内の両園はどうか。
園児の安全のためにも、保育士
等の超過勤務等を把握し、健康
管理労働環境に配慮することが
必要ではないか。

いずも未来室長 新型コロナウイルスの
影響下における労働環境の変化
について、先般聞き取りを行い、
現状を確認している。業務負担
が増加しており、時間外勤務も
増加傾向にある。適正な施設の
運営、職員の処遇改善、労務管
理について、県と共に指導を
行っていきたいと考えている。

川西ひまわりハウス裏の 整備済み河川に安全対策を

小黒議員 一昨年、県の発注で
施行された。護岸はコンクリー
トの階段式で、川遊びができる
整備との話であったが現場には
看板や救命ロープ等の安全施設
の設置が全くない。整備の趣旨
を再確認し安全対策を、早急に
県に要望すべき。

建設課長 指摘のとおり、子育
て世代が河川に親しむ場所を整
備する趣旨であったが、安全対
策が取られていない。早急に、
看板設置等、県と相談しながら
進めていく。



全員協議会後に設置された
注意喚起看板

季節単位の 町PRビデオの作成は

小黒議員 前任の地域おこし協
力隊板東さんが、モンデオさん
のミュージックビデオを作成し、
大変良い作品と思う。冬場のビ
デオであるが、季節単位のもの
を作成する考えはないか。

総務課長 町や観光協会のホー
ムページでは、5年前に作成し
た動画を載せているが、板東さ
ん作成の動画と併せて視聴でき
るよう宣伝していきたい。地域
おこし協力隊も4名体制となる
予定だ。専門業者に依頼する可
能性もあるが検討していきたい。

新型コロナウイルス感染症に 関わる町の対応について

総務課長 現在停止している回
覧文書の休止は、9月末まで延
長させて頂く。また、緊急対応
用として、コロナウイルス抗原
検査100セットを準備したい。

第5回 6月25日(金)

マイナンバーカードの 交付促進のメリットは

高橋議員 デジタル化が進むな
かで、スマホアプリとマイナン
バーカードを使った行政手続き
の効率化を図っている自治体が
ある。当町では取得によるメ
リットが感じられないが、今後
の対応はどうか。

総務課長 国が、令和4年度末
までに自治体で行政手続きのデ
ジタル化が可能となるよう支援
するとしている。当町では、今
まで町民からの要望はなく、実



写真撮影をしてもらい、簡単な発行手続き

施しているものはないが、この
機会に検討していきたい。

町民課長 当町のマイナンバー
カードの取得率は比較的高いが、
今後、健康保険証・運転免許証
等との一体化も予定されており、
さらに進めていきたい。今後、
コロナウイルス対策事業のプレ
ミアム付商品券について、追加
販売をマイナンバーカードの取
得者に限定し、新規取得者を優
先して取得動機付けとなるよう
検討している。

理美容店に対して 新型コロナウイルス感染防止 対策の支援を

石川議員 町内の飲食サービ
ス・宿泊業については感染防止
対策の支援事業が実施済である
が、理美容店は客との距離が近
く、接する時間も長い。同様の
PCR検査等の支援をすべきで
はないか。

町民課長 飲食サービス・宿泊
業が町内外の不特定多数の方を
受け入れるのに対し、理美容店
は、ほぼ町内の定期的な固定客
を対象としている。既に実施し
てきた事業で感染対策をしっか
り取られており、追加では考え
ていない。

飲食店等誘客支援事業 について

町民課長 昨年度も実施した事
業であるが、町内の飲食店・宿
泊業24店舗に対し、アクリル板
設置・二酸化炭素濃度測定器等
の設置整備を支援する。10万円
を上限に補助率は10分の10であ
る。

産業観光課長 コロナの影響を
受けている町内の飲食店に対し
町の全額負担でPCR検査を実
施したい。併せてお店の感染防
止対策状況を1件ずつ見て回り
この店舗は安心安全であるとな
れば、ホームページ等で公表し、
また、店舗にも掲示することを
検討している。

小黒議員 第5弾の支援策で、
既にアクリル板を設置している
事業者も利用できるか。また、
PCR検査の回数は1回だけか。
町民課長 既に準備された事業
者は、他の物品購入に充てて頂
きたい。

産業観光課長 PCR検査の予
算措置は120人分で考えているが、
回数制限は設けていない。

他に協議されたこと

町道妻入りの街並み線の 舗装修繕工事について

建設課長 排水性舗装の予定で
あったが、経年による排水の不
具合があり、検討の結果、アス
ファルト舗装に変更することと
した。

仙海議員 当初予算では、石井
町交差点から石井町と住吉町に
排水性舗装で20mとの説明だっ
たが、今後は街並み線全体をア
スファルト舗装で修繕するの
か。
小黒議員 カラーはアスファ
ルトの黒色になるのか。
建設課長 黒色のアスファルト
舗装にすることで、今年度は350
m程度の修繕が可能。今後傷み
の激しい箇所から随時、全線を
補修していく。



ワクチン接種会場

保健福祉課長 余剰ワクチンは、
職員や従事者等の接種で対応し
ており、キャンセル者には個別
に次の確認をする。また、町内
の一般診療に支障がないよう、
土曜日午後の日時設定とした。



修繕実施予定の石井町交差点付近

1

中野勝正 議員



質問項目

1. 町と県立出雲崎高校との包括連携協定について
2. 「修学旅行」誘致促進事業について

[🔍 詳細は11ページ](#)

2

仙海直樹 議員



質問項目

1. 地域経済の活性化について
2. 住宅の取得などの支援金・補助金について

[🔍 詳細は12ページ](#)

3

小黒博泰 議員



質問項目

1. 団地造成計画の考えは

[🔍 詳細は13ページ](#)


※一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています。

4

加藤修三 議員



質問項目

1. コロナ禍での町経済の回復について
2. 出雲崎の新ブランド米「出雲崎の輝き」の周知について

[🔍 詳細は14ページ](#)

5

島明日香 議員



質問項目

1. 放課後児童クラブについて

[🔍 詳細は15ページ](#)

6

高橋速円 議員



質問項目

1. 小中学校校舎についてその認識を伺う

[🔍 詳細は16ページ](#)



中野 勝正 議員

町と県立出雲崎高等学校との包括連携協定について

町長

新しい町の 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

出雲崎高等学校は 町の生命線

【中野】 協定書の中で、連携事項、県立出雲崎高等学校及び出雲崎町が行う教育交流があげられ、定期的に協議を行う、また、具体的な協力内容については、県立出雲崎高等学校、出雲崎町合意の上決定するとなっている。私はそれぞれの関係者の皆さんが連携し、一層強化を図っていたただくには、これを取りまとめる所が必要と考えるが町長の考えを伺う。

【町長】 窓口を1点に絞るといふことはなかなか難しい。それぞれの窓口、教育は教育課、あるいは交通関係等については総務課と、相当幅広く事業が展開している中で、より効果的に進める。

トリトンプロジェクト

一口メモ

トリトンプロジェクト
町と新潟大学が共同で「健康・教育・交通の3分野」を取り組むプロジェクト

【中野】 トリトンプロジェクトに関わっている、地域おこし協力隊の坂口さんを検討しないか。

【町長】 創生総合戦略の1環で総合的な戦略の中にあるひとつの部門で、町全体の事業として進むには、町の総合的な、組織を挙げて目標達成することが大事である。

【中野】 当町から、県立出雲崎高等学校に協力のお願いの経過があるか。

【町長】 昨年の10月の協定締結から体制を組みながら、6月の町議会定例会終了後に生徒の活動計画の調整をするということになっている。

町から、事業をお願いすると言うものではないと理解している。

提案をする

【中野】 出雲崎駅が無人化になり、殺風景である。高校生を主体にした中で駅の構内外に掲示板を作り、高校のアピールをしていただけないか。

【町長】 総合的に判断をし、結論を得ながら、また、JR東日本社と打合せをしながら進めたい。

オンラインの区容について

【中野】 県立出雲崎高等学校と新潟大学のオンラインでのやりとりで、どういう内容を話され、今後それをどういうふうに活かすのか。

【町長】 非常に多岐にわたっている。坂口協力隊員が進めている。



出雲崎高校への議会説明の様子

「修学旅行」 誘致促進事業について

【中野】 現在、国、県、市町村ではワクチン接種の対応に追われている中で、政府は、10月、11月までに希望される方全員に接種するとの報道があった。

6月の臨時会において、町長専決で、町感染防止対策設備等推進事業補助金250万円（一店舗10万円）PCR検査料191万4千円が承認された。

飲食店、宿泊施設の皆さんはしっかり対応している。来年に向けて、観光事業の中で、「修学旅行」誘致事業に取り組んでいただきたいと思うが町長の考えを伺う。

【町長】 町としては、修学旅行を受け入れるという体制は今のところはなかなか難しく、組織を立ち上げる考えはない。

【中野】 数年前は当町民宿、民泊はなかったが現在3件ある。小規模の学校で30人受け入れられると思う。検討するべきと提案をする。

地域経済の活性化が必要



仙海 直樹 議員

町長

マイナンバーカードの利用は難しいが 地域通貨は深くつめていきたい

**マイナンバーカードを
利用したポイント制度は**

【仙海】 国のマイキープラットフォーム構想を利用し、ボランティア活動や、各種教室に参加した際、マイナンバーカードに町がポイントで、町内の商店等の商品が購入できるようにする考えはないか。

難しいと考える

【町長】 マイナンバーカードを利用するには、各商店等がカードを読み取るための機器の整備に費用が掛かる等、店舗の皆さんの理解が必要になる。また、当町は高齢者も多いので難しいのではないかと考える。

地域通貨の発行は

【仙海】 マイナンバーカードを利用したポイント制度が難しいのであれば、ポイント券を作り、ポイントが貯まった際は地域通貨（商品券）を発行し、町内の消

新築等の補助金の増額は

町長

充分に考えながら

費拡大に繋がられないか。

深くつめていきたい

【町長】 地域通貨により経済効果は高まると思う。しかし、地域住民の理解が必要になるので今後、深く詰めていきたい。

**町内の業者を
利用するなら**

【仙海】 宅地分譲も進み住宅が建築されているが、町内業者を利用して住宅を建築される方が少なく感じる。地域経済の活性化からみても大切と考えるが、町内業者を利用して建築した場合補助金を増額する考えはないか。

充分に考えながら

【町長】 助成額をさらに上げるということは、町内業者の利用に役立つので十分に考えながら対応していきたい。

家電製品のプレゼントは

【仙海】 補助金の増額が難しいのであれば、町が町内の家電屋さんから購入した家電製品をプレゼントする考えはないか。

支援金の方が

【町長】 支援金の方がより使いやすく、最も適切なもの

の取得できると思う。
現在の100万円の制度を堅持しながら、今後の成り行きを見ていきたいと考える。

**町内在住者にも
手厚い制度を**

【仙海】 町が支給する定住促進に関する支援金は転入者に手厚いように思える。この施策は必要と思うが、元々町内に在住する方も対象にするべきではないか。

**転入世帯も町内世帯も
大切な存在**

【町長】 世の中の状況も変わってくるので、それを見きわめながら弾力的に効果が出るような制度を再構築する必要もあると思う。



地域にお金回るしくみを



小黒 博泰 議員

団地造成計画の考えは

町長

大釜谷、山谷、川西を候補地に

松本ひがし団地の
早期完成の要因は

小黒 2019年春に販売開始した「松本ひがし団地」も早期に完成し、完成新築工事も現在進んでいる。当町への移住、定住者の増加、地元企業への経済的効果も多大にあった。

以前の質問で、「松本ひがし団地」の早期完成を目指し、今後の団地造成計画を対応していくとの答弁があった。早期完成した要因は何だと考えるか伺う。

価格、住宅支援など
様々なことが要因

町長 購入者の申し込み時の動機を見ると、価格の安さ、子育て支援の充実、住宅支援策などが有利になった。他に、敷地の景観も良く、地盤も安定している事も理解を頂いた。

また、親戚、知人の紹介や新聞広告、チラシの配布、県内80社の建築業者へのチラシの郵送など、いろんな要因が重なり早期完成に至ったと考える。

新たな団地造成の
候補地はあるのか

小黒 以前に、有識者からは提案を頂いているが、完成状況を判断した上で次の団地候補地を考えると答弁があった。完成した現時点で、新たな団地造成の候補地はあるか伺う。

大釜谷、山谷、川西の
3つの候補地がある

町長 平成27年度の第1次総合戦略の中で、宅地造成事業の推進計画を作成しており、その中で4地区の提案があった。残り3つの候補地は、大釜谷、山谷、川西地区である。今後、利便性、道路状況などを考え、検討しながら進めていかなければならないと考える。

小黒 3地区の候補地で、長岡北インター工業団地を考えた場合に、一番どこが優先的か伺う。

町長 「松本ひがし団地」が早期完成した利点、特殊性をしっかりと認識しながら、次の候補地を選定し、誤り

の無いよう、将来的にプラスになる形で慎重に検討したい。

小黒 現時点では候補地は言えないが、中永トンネルに向かつての352号線沿いの釜谷地区が候補地なのかと認識した。昭和61年の「川東団地」造成に伴い白地にした川西地区が造成候補地1番にならないのか不思議に思うが、町長の考えを伺う。

町長 「川東団地」から造成が始まったが、当時の地権者もいろいろな要因があり断念した。団地造成は利便性、景観、災害の有無を考えながら検討し、即完売できる状況を判断しながら進めていかなければと考える。



住宅が建ち並ぶ「松本ひがし団地」

ウイズ・コロナ時代に
移住での地方創生の考えは

小黒 ウイズ・コロナ時代で、コロナと共存している覚悟が必要になっている中で、団地造成や空き家、古民家改修等をひっくるめた中で、出雲崎への移住での地方創生の考えを伺う。

移り住んでいただける
施策を考える

町長 コロナ時代において、転入数が最も多かった東京圏は、昨年から一転して転出超過の状況にある。他地域と差別化を出して、当町も若年層の移住促進のために、現在ある支援制度の充実や移り住んでいただけるような施策を十分考えていきたい。

小黒 国も地方の創意工夫をいかした自主的な取組を政府一体となって支援すると言っている。テレワーク推進事業や地域おこし協力隊制度での補助などと町独自の支援を活用して、団地造成だけではなく、移住促進を図り良い町にしたい。

コロナ禍で疲弊した町経済の早急な回復を



加藤 修三 議員

町長 町民の声に寄り添った効果的な施策を次々と進める

コロナ禍で大打撃の経済

加藤 町民はコロナ禍、外出や外食をできるだけ控え、じつと我慢してきた。人流も止まり町経済は疲弊し、特に飲食、宿泊観光業等は大打撃を受けているが、町の経済回復についてどのように考えているのか、伺う。

町民の本当の声に

寄り添い進める

町長 コロナに対する安堵感と、またさらに元気づけていただきたいということで第2弾としてプレミアム付商品券を発行し、今後もこれらの状況を見極めながら、町民各位の本当の声に寄り添った効果的な施策を次から次へと進めていく。



感染症対策認証テナント表示のお店

飲食店など気兼ねなく

利用するために

加藤 町の感染症対策やPCR検査をクリアした宿泊、飲食店の明確化と利用者も感染防止対応で気兼ねなく利用できるか伺う。

批判の矢面に立つ

町長 例えば議会の最終日、飲んだと記事に取り上げられても、私はしっかりと答えをする。我が町においては、飲食店なりしつかりとしたコロナ対策に対応し、安全確保しながら、利用する議員も厳しい規制を守りながらお互いに交流

する。いいではないか。町がマスクコミから批判を受ければ私が矢面に立ち私がつかりと釈明をする。

出雲崎の新ブランド米「出雲崎の輝き」をPR

「出雲崎の輝き」の周知

加藤 昨年誕生した「出雲崎の輝き」は極力化学肥料農薬を抑えた安全安心、高品質、旨味を兼ね備えた良質米であり、町民はもとより町外にも広く発信し、生産者のモチベーションアップと出雲崎のPRについて伺う。

町民の皆さんから「出雲崎の輝き」を味わっていたいただくことも大事

町長 地域おこし協力隊の活動、町の公式YouTubeチャンネルで昨年作成した新ブランド米の「出雲崎の輝き、美味しいお米の炊き方」など、ネット上でもPRしてまいりたい。



ふっくらと光り輝く「出雲崎の輝き」



島 明日香 議員

これからの 放課後児童クラブは

町長

必要に応じて、在り方について 適切に対応していく

利用する側も支援する側も安心安全な利用に限界がきているのではない

島 静養室改善の意向、ギャラリー側の窓に網戸設置の意向、夏休み中の運動スペースの確保として、冷房完備の中央公民館講堂利用の意向はあるか伺う。

静養室と網戸については
早急な対応を実施

町長 静養室については、小学校とも協議をしながら間仕切りの活用や、スペース確保のための検討を進める。

可能な限り早急に網戸を設置できるように9月の予算措置を進める。

移動が少なく、児童が使い慣れた場所で、職員の運営の中で有意義に活動することが最適と考える。また熱中症対策を徹底し、児童

の健康を維持しながら活動を進めていくので、講堂を利用する必要性は無い。

来年度入学予定の
児童数を鑑みて

島 来年度の受入体制についての考えを伺う。

活用できる学校の教室数を増やし、適宜委員会を開催

町長 来年度も1〜3年生を主な対象とし、平日利用が40名、長期休業中の利用が50名を超える可能性がある。児童クラブ室や生活科室、図書室の他に特別教室も開放して運営していく。また、必要に応じて放課後子ども総合プラン委員会を開催し各面で適切に対応していく考えである。

島 町内事業者が、放課後の児童の居場所として

名乗りを上げた場合、町はどのようなバックアップをされるのか伺う。

町長 放課後児童健全育成事業の許可を受けた正規の受入先があれば、バックアップできる具体的な内容を検討したい。

地域おこし協力隊から
児童へアプローチを

島 児童クラブ利用の有無で運動能力や体力の差

が気になるという声がある。地域おこし協力隊から児童をはじめ支援員や先生方への関与の意向を伺う。

積極的なアプローチを

町長 小中学校の体力測定データを活用、アンケートを実施し町の情勢と傾向を分析する予定。各面でアプローチさせていただきたい。



放課後児童クラブで使用している
小学校の体育館

築50年近い小中学校の校舎、 どう認識しているか？



高橋 速円 議員

町長

公共施設等総合管理計画を 策定している

町長 平成28年にインフラ資産の計画的管理を推進するため、町公共施設等総合管理計画を策定している。これに基づいて学校施設を対象に令和元年度から7年間に及ぶ長寿命化計画が策定され、耐震補強やさまざまな改修工事を実施する。適切な維持管理、あるいは施設の目標使用年数を90年としている。

計画的な管理で90年を
目標使用日数としている

高橋 出雲崎小学校は昭和53年、出雲崎中学校は昭和49年に建てられた。半世紀近い歳月が経っている。建物本体は当然だが、機能面等についてどう認識されているか伺う。

出雲崎小学校は43年、
出雲崎中学校は47年
経っている？

役場庁舎も今年で築50年経過する。 主要な建物をあと40年持たせるとは、 大変な覚悟がいる！

町長

10年、20年のいわゆる短期的展望で、耐震やバリアフリー等に意を注ぐ。当面は主要建物は有効活用で安全に、利便性を損なわないようにすすめる。

町長 少子化、2040年問題、50年問題など山積している。人口問題など大きく変化する社会情勢などをどう処理するか。当面、学校をどうするかについては、町民は不安を感じると思う。町民の段階ではない。

最優先課題は

他にまだある

高橋 小学校、中学校、役場庁舎、そして中央公民館、これらの施設を21世紀の新しい街づくりと捉えられないか？
それも町民と一緒に議論を重ねられないか？ ある意味でピンチをチャンスにする。先送りして子供たちに迷惑にならないようにしなければ。
その認識は如何か？

町民と一緒に
考えてはいいか？



47年経った出雲崎中学校

町長 40年、50年後のことを総合計画に入れるべきではない。
総合計画は5年、10年スパンでことを進める訳だ。総合計画に盛り込むべきではない。

盛り込むべきではない

高橋 この校舎の問題は次の総合計画に盛り込むべきだ。今の問題として一歩でも二歩でも先を見通してやるべきだ。

次の総合計画に
盛り込んでしかるべきだ

議会サロンを開催します

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催します。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。

開催日	時間	場所	担当議員	
8月10日(火)	午前10時～正午	陽だまり	三輪 正	石川 豊
8月25日(水)	午後1時30分～2時 (八手の茶の間で実施)	八手地区農村環境改善センター	三輪 正	石川 豊
8月28日(土)	午前10時～正午	妻入り会館	宮下孝幸	高桑佳子
9月2日(木)	午前10時30分～11時 (新津邸の茶の間で実施)	新津邸	加藤修三	仙海直樹
9月7日(火)	午前10時～正午	陽だまり	加藤修三	仙海直樹
9月25日(土)		妻入り会館	高橋速円	高桑佳子

議会のこと、町への要望など
ぜひ、この機会にお聞かせください。
顔を見に来ていただけるだけでも嬉しいです。



議会の様子を YouTube で配信しています



陽だまりでの議会中継視聴の様子

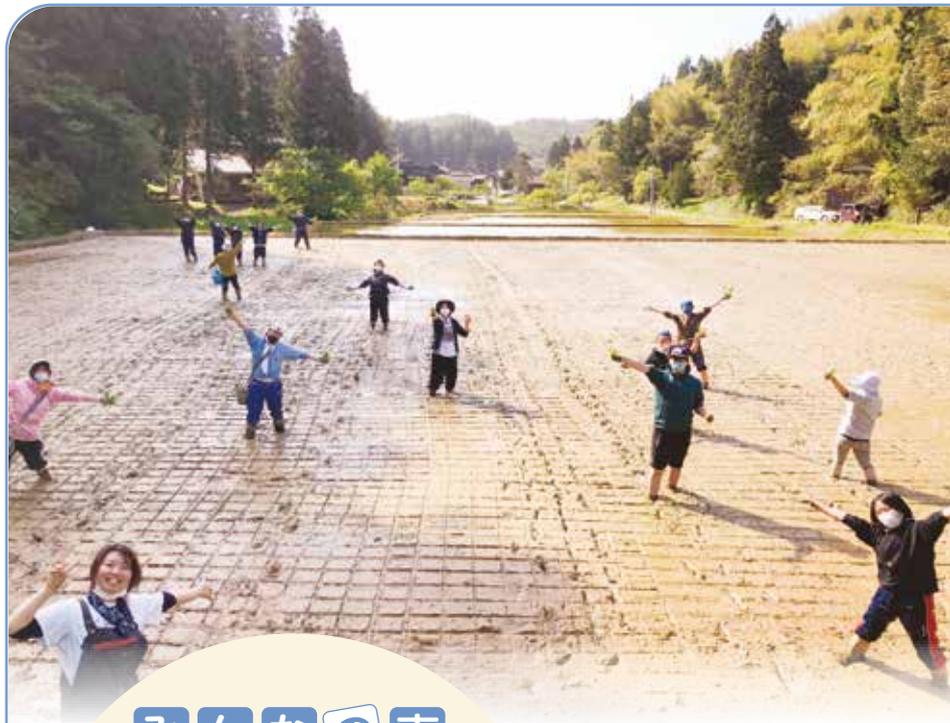
出雲崎町議会では、本会議の録画映像を配信しています。
町議会ホームページの「インターネット議会中継」からご覧いただけます。
また、一般質問は生中継をいたします。
パソコンやスマートフォンのほか、下記の施設に設置しているテレビにおいても視聴ができます。

役場 2階会議室・中央公民館・海岸公民館・妻入り会館・ホッと情報館陽だまり

※次回の定例会は9月を予定しています。
会期日程（配信日程）は、広報いずもざき9月号及び
町議会ホームページでお知らせいたします。



町議会ホームページ



生 まれ育った東京から新潟に来て5年目の今年、4年間暮らした長岡駅前を離れ、出雲崎に引っ越してきました。きっかけは、3年前に仕事で担当になった大釜谷集落での学生インターンシップ。そのご縁

で梅畑の草刈りや収穫に通り始め、空き家を紹介してもらい、この春念願の農村暮らしを始めることができました。大きな古い家での1人暮らしはまだ慣れませんが、町の皆さんが声をかけてくれたり初めてのお米作りの

サポートをしてくれたりするおかげでとても楽しくすごしています。家をDIYしたいなあ、出雲崎内でイベントがしたいなあ、などやりたいことも膨らんできたので、町内のいろんな人ともっと知り合いになって実現していきたいです。

みんなの声

生活の豊かさは 自分の手でつくること

大釜谷

いのうえ ゆき
井上 有紀 さん



表紙の小話

地域おこし協力隊 そろい踏み

7月から外山智美さんを新たに協力隊員として迎え、これで今年度の協力隊員4名が揃いました。

各協力隊員の今後の抱負をご紹介します。

◆石坂 優さん

1年目に築き上げたものを深め、活かす2年目に。

◆坂口雄介さん

皆さんのさらなる健康に向けて取り組みます。

◆小畑穂乃花さん

地域産業をはじめ出雲崎の魅力を発信します！

◆外山 智美さん

常楽寺での生活を学び、交流の機会を増やします。

協力隊員を見かけましたら、気軽に声をかけてください。宜しくお願ひします。

(石川 豊)

編集後記

今年度、改選期を迎え12年ぶりの選挙になり、新体制での6月定例会も終了致しました。

ワクチン接種も計画通り進んでおりますが、新型コロナウイルス感染症に於いて、様々な形で町民の皆様に影響があると思います。今日まで町独自の様々な支援策を行ってきましたが、今後も議会と町行政とが一丸となり、皆様のためになる支援策を考えるとともに、旅館・割烹など飲食店の経営回復を目指し、町民の生活は基より、町経済と観光産業の発展に努めなければなりませんと考えます。

議会だより編集にあたり、今後も皆様のご意見・要望などを踏まえ、より分かりやすく議会活動をお知らせできるよう、さらに努めてまいりますので宜しくお願ひ致します。

(小黒博泰)



議会報特別委員会

委員長 高桑 佳子
副委員長 石川 豊
委員 仙海 直樹
委員 小黒 博泰
委員 島明日香